

【見返りを求めない思い】

3年生の生徒数人と、4月からの新しい生活について話していた時、一人の生徒が「高校行って友だちできるかな。友だちってどうやって作るんやったっけ」とつぶやきました。それもそのはず、小学校1年生から(もしくは幼稚園や保育園の時から)ずっと一緒に大きくなってきて、中学生になってからは転入してくる人もいなかった3年生。今となっては、「友だちになった」というより、「気が付いたときにはもう友だちだった」という感覚なのでしょう。「友だちってどうやって作るんやったっけ」と不安になるのももっともなことだと思います。

そこで、4月からの生活を思い浮かべて不安になっている3年生と、1,2年生にはさらによい関係を築いてもらうために、右の詩を紹介します。「馬鹿野郎」なんて乱暴な言葉が使われていますが、友だちとは?と考えさせられる詩です。

作者のビートたけしさんは友情について、著書の中でこうも書いています。「『お前が困ったら、俺はいつでも助ける。だけど、俺が困ったときは、俺は絶対にお前の前には現れない』これが正しい。」と。自分が一方的に思う相手への気持ちが本当の友情だと書かれていました。

なんだか、親が子を思うのも、地域の方が子どもたちを思うのも、教師が生徒を思うのも、どれも友情とは違う感情だけれど、一方的で見返りなんて求めないという点は同じだと思います。ご家庭、地域、学校からこの同じ思いを、これからも生徒たちに注いでいきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

友 達

ビートたけし

困った時、助けてくれたり
自分の事のように心配して
相談に乗ってくれる
そんな友人が欲しい

馬鹿野郎、
友達が欲しかったら
困ったとき助けてやり
相談に乗り
心配してやる事だ
そして相手に何も期待しない事
これが友達を作る秘訣だ

校長 上代婦美子

【刻印】

下足室の壁には河内材が使われています。木のぬくもりや香りに癒されますね。その河内材に刻印を押しました。校長先生が思いを込めて押してくれました。



校長先生なんか
かっこいい！！

【市制70周年】

市制70周年お祝いメッセージ動画を撮影しました。式典会場は、「(仮称)南花台中央公園・サッカー場」のメタバース空間を式典用に装飾したものをうい、その空間内に設置したモニターでの市長・議長等のメッセージ動画放映、市制施行から現在までの写真パネル展示、市内小中学校からのメッセージ動画放映等を予定されています。放映は令和6年4月1日(月)～令和6年4月30日(火)



【これは???



「なんだろう？」



「ん？つばめ？」



「あ、風見鶏！」

小学校から
移設されま
す。懐かし
くてなんだ
かうれしい
ですね